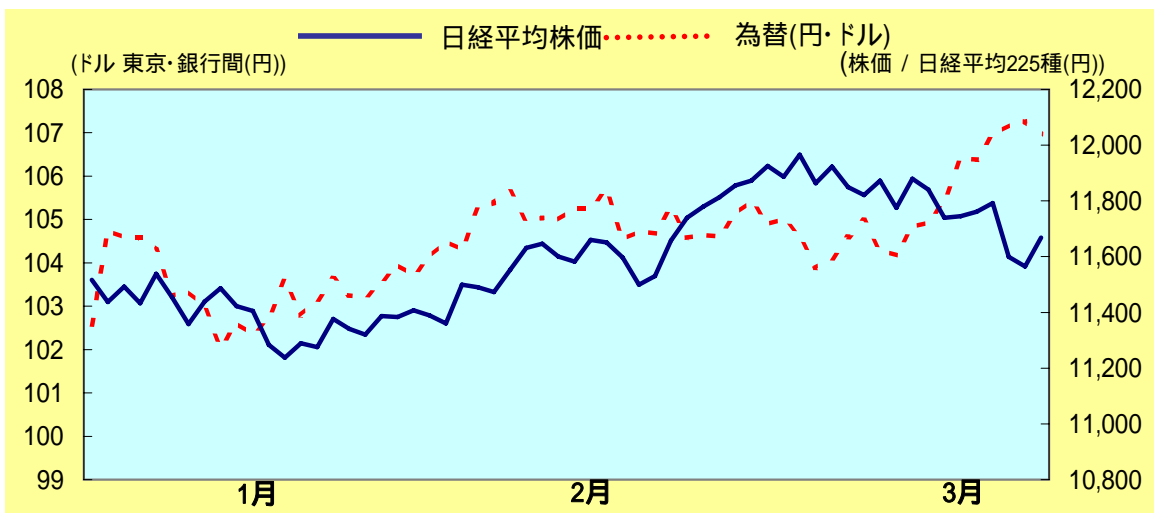


景気動向調査のまとめ

調査期間:平成17年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3カ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成17年1月～3月期の業況 / 平成17年4月～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成17年3月初旬

調査先数

大分市、別府市、挾間町、日出町の事業所183先

調査先業種別内訳

製造業	24先	小売業	54先	卸売業	19先
サービス業	60先	建設業	14先	不動産業	12先

調査方法

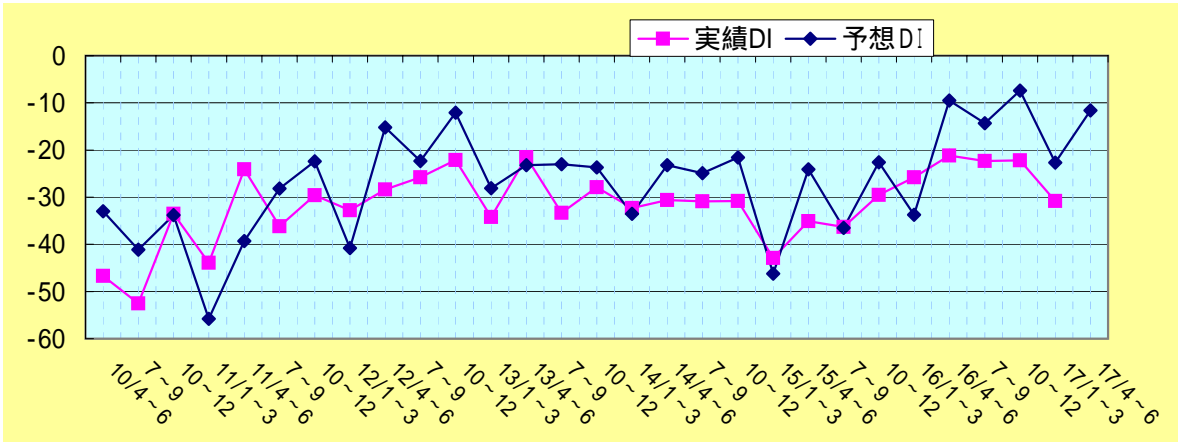
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)にて分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI / 予想DI値推移



業種別天気図

	総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
1月～3月期実績	30.8	41.7	32.1	63.2	20.0	7.1	33.3
4月～6月期予想	11.6	16.7	20.8	15.8	3.4	0.0	8.3
表の見方	DI:25以上	DI:15～24	DI:0～14	DI: 1～ 14	DI: 15～ 24	DI: 25以下	

1月～3月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

1月～3月の県内企業の景況感を表す総合業況DIは、30.8となり、前期比では8.6ポイントの下降、前年同期比でも5.0ポイントの下降となった。また、業種別では、小売業が32.1と前年同期比11.8ポイントの上昇となったが、卸売業、製造業、サービス業、不動産業、建設業では、いずれも前年同期比は下降となった。特に卸売業、製造業は前年同期比20ポイント以上の下降となっている。4月～6月の総合業況予想は11.6で、前年同期比2.1ポイントの下降となったが、今期比では19.2ポイントの上昇見通しとなっている。業種別では、製造業が16.7と今期比25ポイント上昇、卸売業が15.8と同47.4ポイント上昇、小売業が20.8と同11.3ポイント上昇、建設業が0.0と同7.1ポイント上昇、サービス業が3.4と同16.6ポイント上昇、不動産業が8.3と同25ポイント上昇となっており、全業種において業況DIは今期比上昇見通しとなっている。

県内経済情勢報告(平成17年4月)

(財務省九州財務局 大分財務事務所報告より抜粋)

県内経済は、一部に弱さもみられるものの、引き続き緩やかな回復の動きが続いている。

- ・個人消費は、総じて低調なものとなっている。
- ・設備投資は、前年を上回る。
- ・生産活動は、引き続き高い水準にある。
- ・雇用情勢は、改善の動きが続いている。
- ・企業利益は、通期では減益。

このように、県内経済は、一部に弱さもみられるものの、引き続き緩やかな回復の動きが続いている。先行きについても、当面は緩やかな回復の動きをが続けるものと見込まれる。

業種別景況

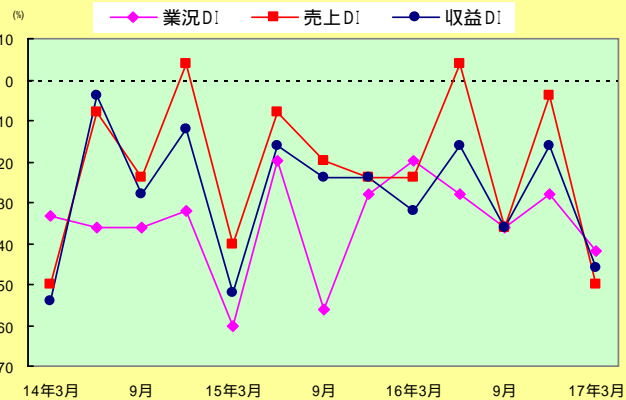
製造業

景況

業況DIは 41.7で、前期比13.7ポイントの下降、前年同期比21.7ポイントの下降となった。また、売上DIは 50.0で、前年同期比26.0ポイントの下降、収益DIは 45.8で、同13.8ポイントの下降となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは 16.7で、今期比25.0ポイント上昇となっている。また、売上予想DIは16.7で、同66.7ポイントの上昇、収益予想DIは20.8で、同66.6ポイントの上昇となっている。



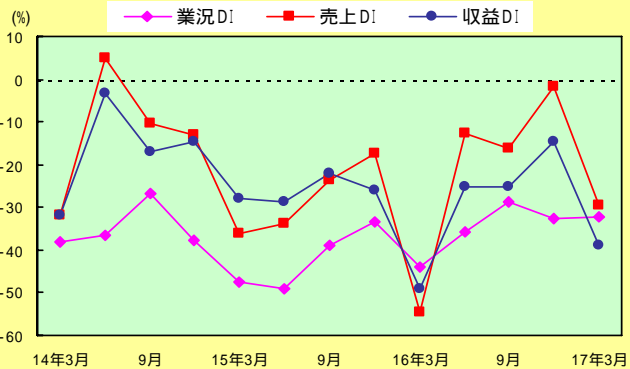
小売業

景況

業況DIは 32.1で、前期比0.6ポイントの上昇、前年同期比11.8ポイントの上昇となった。また、売上DIは 29.6で、前年同期比24.8ポイントの上昇、収益DIは 38.9で同10.2ポイントの上昇となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは 20.8で、今期比11.3ポイントの上昇となっている。また、売上予想DIは 11.1で、同40.7ポイントの上昇、収益予想DIは15.8で、同54.7ポイントの上昇となっている。



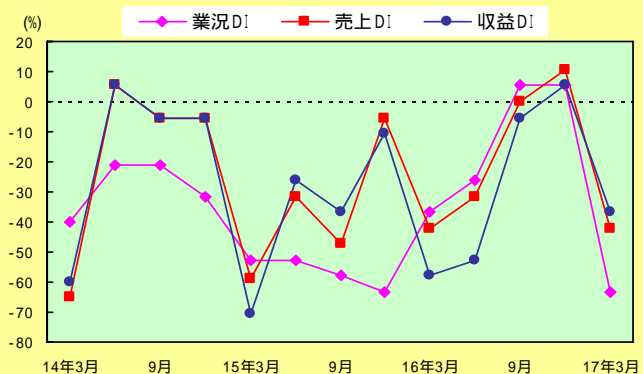
卸売業

景況

業況DIは 63.2で、前期比68.5ポイント下降、前年同期比では26.4ポイントの下降となった。一方、売上DIは 42.1で、前年同期比横ばい。収益DIは 36.8で、同21.1ポイントの上昇となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは 15.8で、今期比47.4ポイントの上昇となっている。また、売上予想DIは31.6で、同73.7ポイントの上昇、収益予想DIは36.8で同73.6ポイントの上昇となっている。



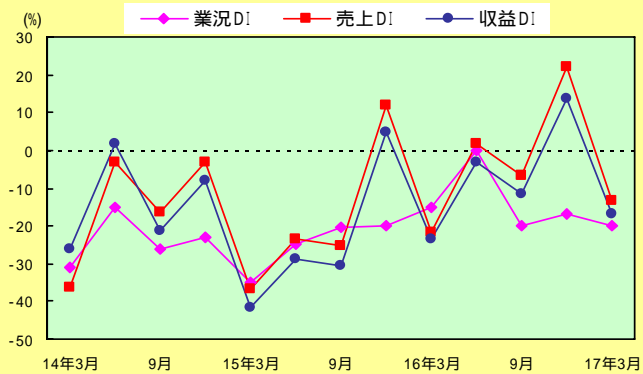
サービス業

景況

業況DIは 20.0で、前期比3.1ポイントの下降、前年同期比5.0ポイントの下降となった。一方、売上DIは 13.3で、前年同期比8.4ポイントの上昇、収益DIは 16.7で、同6.6ポイントの上昇となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは 3.4で、今期比16.6ポイントの上昇となっている。また、売上予想DIは10.3で、同23.6ポイントの上昇、収益予想DIは10.3で、同27.0ポイントの上昇となっている。



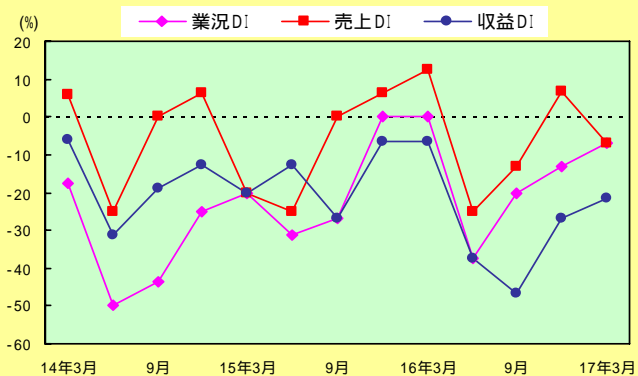
建設業

景況

業況DIは 7.1で、前期比6.2ポイントの上昇、前年同期比7.1ポイントの下降となった。売上DIは 7.1で、前年同期比19.6ポイントの下降、収益DIは 21.4で、同15.1ポイントの下降となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは0.0で、今期比7.1ポイントの上昇となっている。一方、売上予想DIは 7.1で今期比横ばい、収益予想DIは 28.6で、今期比7.2ポイントの下降となっている。



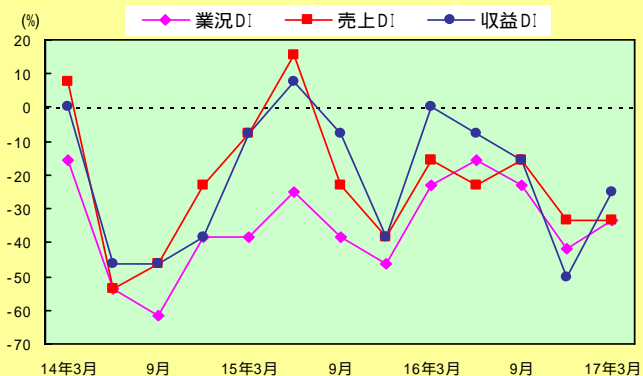
不動産業

景況

業況DIは 33.3で、前期比8.4ポイントの上昇、前年同期比10.2ポイントの下降となった。また、売上DIは、33.3で、前年同期比17.9ポイントの下降、収益DIは、 25.0で、同25.0ポイントの下降となった。

来期(4~6月)の見通し

業況予想DIは 8.3で、今期比25.0ポイントの上昇となっている。また、売上予想DIは 25.0で、同8.3ポイントの上昇、収益予想DIは 16.7で、同8.3ポイントの上昇となっている。



設備投資の動き

(複数回答・1先3項目以内選択)

種 類	1月～3月期	4月～6月期
事業用土地・建物	6	6
機械・設備の新・増設	4	7
機械・設備の更改	5	6
事務機器	5	7
車両	5	6
その他	2	1
実施しない	152	146

経営上の問題点

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	売上の停滞・減少	92
2	同業者間の競争激化	87
3	利幅の縮小	54
4	大手企業との競争激化	31
5	原材料費の高騰	14

当面の重要経営施策

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	経費節減	104
2	販路の拡大	79
3	情報力強化	28
4	人材確保	25
5	商品の充実	25

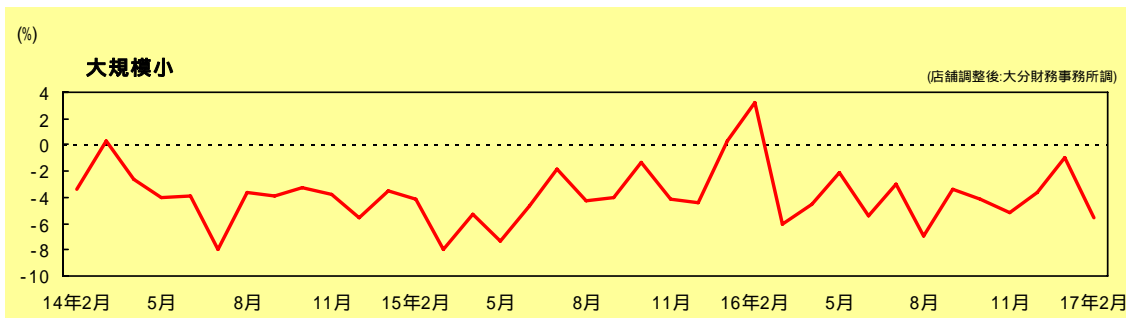
DI 数値表

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	30.8	41.7	32.1	63.2	20.0	7.1	33.3
	4月～6月予想	11.6	16.7	20.8	15.8	3.4	0.0	8.3
売 上	1月～3月実績	26.8	50.0	29.6	42.1	13.3	7.1	33.3
	4月～6月予想	9.9	16.7	11.1	31.6	10.3	7.1	25.0
受注残	1月～3月実績	24.3	26.1	***	***	***	21.4	***
	4月～6月予想	2.7	13.0	***	***	***	14.3	***
施工高	1月～3月実績	14.3	***	***	***	***	14.3	***
	4月～6月予想	14.3	***	***	***	***	14.3	***
収 益	1月～3月実績	30.1	45.8	38.9	36.8	16.7	21.4	25.0
	4月～6月予想	10.9	20.8	15.8	36.8	10.3	28.6	16.7
販売価格	1月～3月実績	12.0	12.5	5.6	5.3	6.7	35.7	50.0
	4月～6月予想	6.1	0.0	1.9	0.0	1.7	35.7	33.3
仕入価格	1月～3月実績	6.6	20.8	3.7	5.3	6.7	28.6	33.3
	4月～6月予想	10.5	16.7	14.8	0.0	10.3	21.4	16.7
在庫	1月～3月実績	9.8	0.0	13.0	15.8	***	0.0	18.2
	4月～6月予想	2.5	4.2	7.4	15.8	***	7.1	0.0
資金繰り	1月～3月実績	20.2	33.3	29.6	31.6	1.7	21.4	25.0
	4月～6月予想	11.6	29.2	3.7	5.3	0.0	42.9	41.7
残業時間	1月～3月実績	3.8	16.7	0.0	5.3	6.8	0.0	16.7
	4月～6月予想	0.6	8.7	5.6	5.3	7.0	0.0	8.3
人手状況	1月～3月実績	8.2	8.3	5.6	21.1	11.7	14.3	41.7
	4月～6月予想	12.2	17.4	11.1	10.5	12.1	21.4	33.3
前年同期比売上高		23.5	29.2	27.8	21.1	18.3	14.3	33.3
前年同期比収益		26.8	33.3	31.5	10.5	21.7	28.6	41.7
前年同期比販売価格		8.2	***	5.6	15.8	***	***	***

主な経済指標の動向

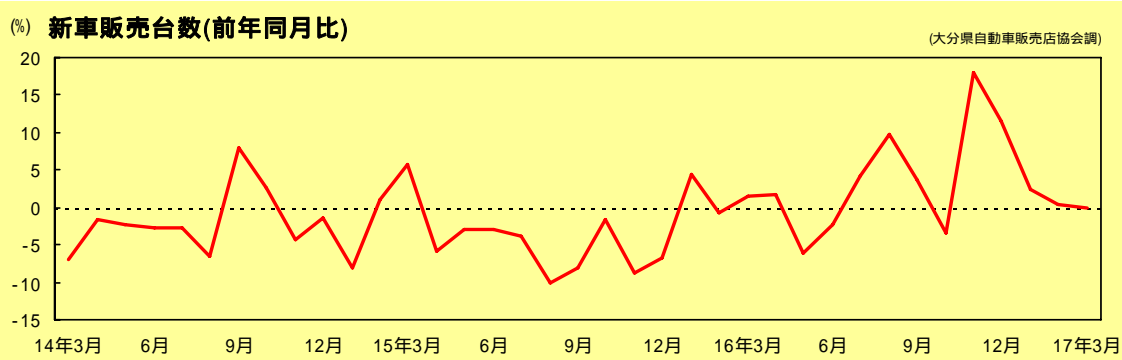
大規模小売店舗売上高

2月の県内の大規模小売店舗(22社98店舗)の総売上高は166億98百万円で、店舗調整後では前年同月に比べ5.6ポイント減少となった。品目別では、衣料品が前年同月比9.1ポイント減、食料品が同2.4ポイント減、その他の商品が同5.9ポイント減となった。また、業態別にみると、百貨店および専門店(9社14店舗)は前年同月比8.6ポイント減、スーパー(13社84店舗)は同3.5ポイント減となった。



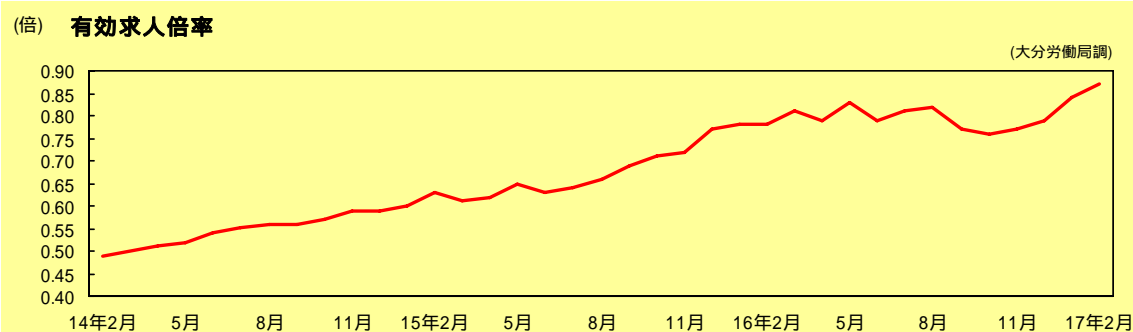
新車販売台数

3月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は8,060台、前年同月比は横ばいとなった。このうち、普通乗用車は前年同月比横ばい、小型乗用車は同3.5ポイント増、軽乗用車は同4.9ポイント減となった。



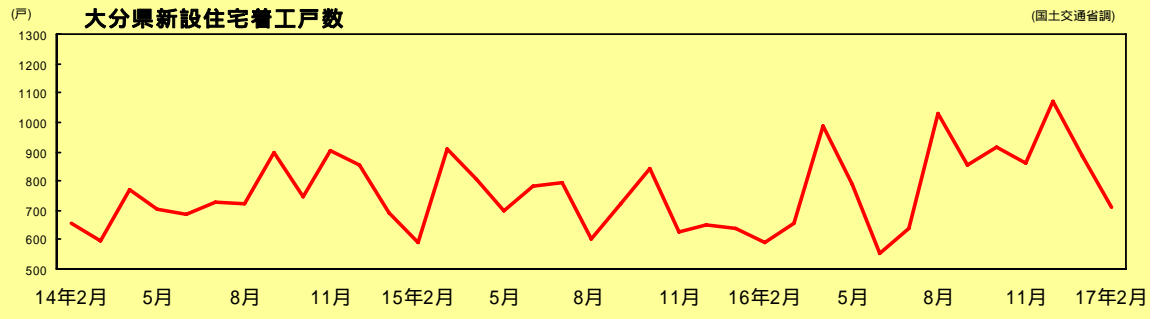
有効求人倍率

2月の県内有効求人倍率(季節調整値)は0.87倍で、前月より0.03ポイント上がり、4カ月連続の上昇となった。なお、全国平均は0.91倍となっている。地域別では、大分管内が1.09倍、別府管内が0.82倍、中津管内が0.91倍となっている。



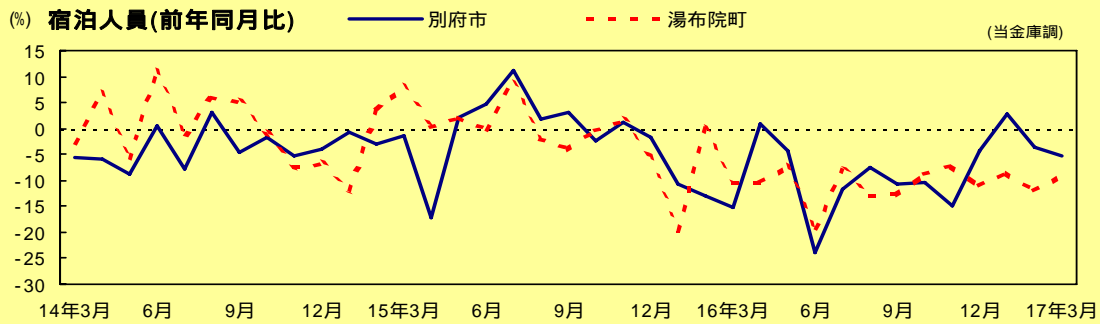
新設住宅着工戸数

2月の県内住宅着工戸数は709戸で、前年同月比20.6ポイントの増加となった。うち持家が285戸で同7.1ポイントの増加、貸家が392戸で同84.0ポイントの増加となっている。一方、分譲(マンション・建売)は27戸で同74.8ポイントの減少となっている。



観光動向

観光客宿泊動態(宿泊人員)は、1月は別府市内で前年同期比2.8ポイントの増加、湯布院町で同8.4ポイントの減少。2月は別府市内で同3.7ポイントの減少、湯布院町で同12ポイントの減少。3月は別府市内で同5.4ポイントの減少、湯布院町で同8.7ポイントの減少となった。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店によると、県内の3月の倒産件数は7件、負債総額は52億2千百万円。業種別では建設業4件、小売業2件、卸売業1件。原因別では、販売不振が5件で、過小資本と売掛金回収難が各1件であった。

